

令和7年度第3回太宰府市介護保険運営協議会 議事録

日時：令和8年3月5日（木）18：30～19：36

場所：市役所4階 404会議室

【出席】

（委員）渡邊委員・則松委員・蜷川委員・江口委員・川谷委員・芳賀委員
後藤委員・岩男委員

（事務局）大谷部長・友田統括・柳谷課長・大山課長
垣内係長・南利係長・糸山係長・鍋島係長・中山

（計画策定支援事業所）株式会社くまもと健康支援研究所 開田氏

【欠席】

（委員）鹿子生委員

【傍聴人】1名

議題1 令和7年度保険者機能強化推進交付金・保険者努力支援交付金評価分析について

令和7年度保険者機能強化推進交付金・保険者努力支援交付金評価分析について、報告しました。

【質問】 給付費の伸び率が低い自治体の上位3位に入ったとありますが、その要因は何ですか？

【回答】 2017年から2023年の6年間の後期高齢者数の伸び率を、給付費の伸び率で割って算出された数字で評価をしております。高齢者の伸びに対して給付費が伸びていないというようなことが要因となります。

【質問】 中重度介護認定者の短期的と長期的な期間の区切りとはどのくらいの期間とされているのですか？

【回答】 国の指標によると、短期的とは2023年1月から2024年1月の1年間を指し、長期的は2020年1月から2024年1月の4年間を期間としています。

【質問】 高齢者社会福祉士が各エリア1名不足あるが、今後補充されるのでしょうか。

【回答】高齢者人口当たりの地域包括支援センターに配置される3職種の人数のうち、各エリアで社会福祉士が1名不足していますので、今後は包括的支援事業を実施するための必要な職員の配置に努めていきたいと考えています。

【質問】通いの場の参加者の健康状態を把握する取り組みとは、具体的にどのようなことを行っているのですか？

【回答】「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の中で、高齢者へフレイル予防に関する知識を広く周知することで、フレイル予防を実施する者を増やし、健康寿命の延伸に資することを目的に集団支援として専門職が通いの場に出向き、フレイルチェックや健康教育を行う取り組みを、元気づくり課を主管として高齢者支援課が共同で実施しています。

【質問】生活支援コーディネーターは、兼務のため対象とならないとありますが、その兼務とはどういった内容でしょうか。専従での配置よりも効果的なのではないですか？

【回答】生活支援コーディネーターは太宰府市社会福祉協議会の職員が担い、小地域福祉活動やボランティア事業など、社協の他の事業と兼務しています。厚生労働省の評価指標では専従配置が要件とされ、本市のような兼務による配置は評価対象外となります。一方で、社協業務と兼務することで、地域との日常的な関係性を活かしたニーズ把握や地域資源の開発が可能であり、事業推進においては効果的に機能している側面があると認識しています。

【質問】認知症サポーター養成講座を受講する方はどのような年齢や職業の方で、またどのような動機で受講されているのでしょうか。

【回答】令和6年度は認知症サポーター養成講座を18回開催しました。内訳としては、市民向けに1回と団体向けに17回となります。市民向けでは、20代1名、40代2名、50代7名、60代5名、70代以上9名で、計24名の方に参加をいただきました。団体向けは年度により異なりますが、民生委員、児童委員、シルバー人材センター、太寿連、自治会、学校、郵便局、宅配事業所、市職員など様々な団体に受講していただいております。市民を対象とした講座では、家族や知人に認知症の方がいるので接し方を知りたいというお声が多く、また、団体からは見守る際の配慮や気づきのポイントを学びたいというお声をいただいております。

【意見】認知症総合支援を推進する評価が低いという状況がありますが、今のお話を聞くと、評価指標に変更があったことや、力を入れて取り組んでいるということですので、引き続き積極的に取り組んでいただきたいと思います。

【意見】他県や他市では、小学校中学校などで認知症について普及啓発されているところもありますので、やはり小さい頃からの学習が必要だと思います。学校の総合学習などに取り入れていただいて、幅広い世代の方に認知症への理解を深めていただくための取り組みも検討されたらよいかと思います。

議題2 在宅介護実態調査の結果報告について

第10期高齢者支援計画策定の資料とするために実施した、在宅介護実態調査の集計結果について、くまもと健康支援研究所より報告を行いました。

議題3 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果報告について

同様に、第10期高齢者支援計画策定の資料とするために実施した、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の集計結果について、くまもと健康支援研究所より報告を行いました。

【質問】今回は回収率がよかったと思いますが、要因というのは何かありますか。

【回答】今回2つの調査票を配布するにあたって、地域の中に調査票が届いて回答にお困りの方がいたらフォローいただきたいと民生委員・児童委員理事会の中でお願いをしました。そういったことが今回の回収率に繋がったのではと思います。

【意見】非常にわかりやすかったです。太宰府市のこれから先の課題がよく見えてきた調査だと思います。特に、働きながら介護することに困難を感じている方が不安に感じていらっしゃるの、排泄や洗身とのことでしたので、次の計画の中で触れていく必要がある明確な課題であると感じました。

議題4 その他

第10期高齢者支援計画策定のため、住民・関係機関とのワークショップを実施する方向で調整を予定している旨、令和8年度運営協議会スケジュールについて、通常より多い年5回の開催を予定している旨を報告しました。

【閉会】